

デマンドバス運行実証実験事業

実証期間：2020年（令和2年）8月～2023年（令和5年）3月

暮らし



網走市

目的

将来にわたり持続可能な公共交通システムの形成につなげるための選択肢を検討することを目的とする。

背景・課題

- 人口減少・少子高齢化を背景に、バス等利用者の減少に伴う路線の赤字、運転手等の働き手不足、高齢者の交通弱者の孤立などの課題が顕在化してきている。現状のままでは、公共交通が維持できなくなり、孤立する交通弱者が増加するおそれが高い。
- 市内路線バスの運行状況として、朝夕などの時間帯は、通学、通院、通勤などにより、一定の利用者がいるが、その他の時間帯では、利用が少ない状況が続いており、利用者からは、便数が少ないことや、バス停までの距離が遠いなどの不満の声がある。

事業のポイント

今回の実証実験で使用している「AI運行バスシステム」は、リアルタイムに発生する乗降リクエストに対して、AIを使い膨大な計算量から効率的な車両・ルート（乗り合わせる組合せ）をリアルタイムに算出することができる。

期待される効果

- ◆ 地域公共交通の維持・最適化
- ◆ 車両維持費の削減
- ◆ 車両運用の効率化

推進体制

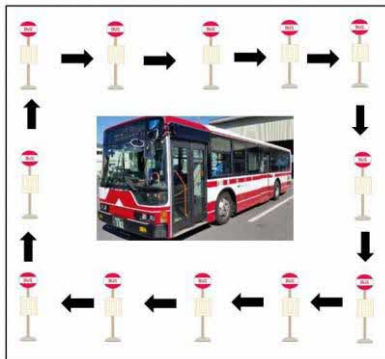
実証運行全体のコーディネート：網走市
バスの運行：網走バス株式会社
システムの開発：株式会社NTTドコモ

概要

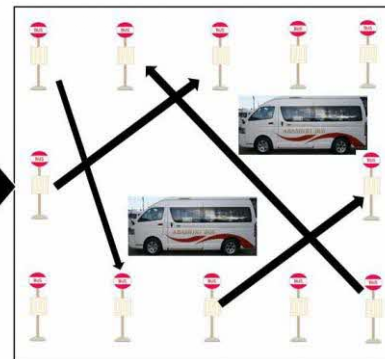
利用者が呼びたいタイミングでインターネットや電話で予約することで、リアルタイムに最適な車両配車を行うことができる。これにより、利用者はこれまでの定時定路線型バスとは異なり、時刻表に縛られることなく、乗りたいときに乗車し、行きたい目的地に移動することができて、利用者のいないバス停を経由せず、効率的な車両運行が可能となる。

「どこバス」は利用者の利便性向上と車両運行の効率化を実現する可能性があり、持続可能な地域公共交通の構築に向けた新たな交通手段として期待される。

【路線バス】



【どこバス】



担当者より

利用者の意見等を参考にしながら、より利用しやすい運行エリアや利用料金を検討していきたい。

お問い合わせ

網走市商工労働課 TEL0152-44-6111（内線292）
ZUSR-KK-SHOKO-SHOKO[アット]city.abashiri.hokkaido.jp